

## 臨床実習

## 地域連携

《担当者名》 教授/長澤 敏行 nagasawa@ 教授/古市 保志 furuichi@ 教授/齋藤 隆史 t-saito@  
 教授/川上 智史 kawakami@ 教授/越野 寿 koshino@ 教授/會田 英紀 aita@  
 教授/齊藤 正人 msaitoh@ 教授/伊藤 修一 shu@ 講師/塚越 慎 tsuka-s@  
 講師/川西 克弥 kawanisi@ 講師/村田 幸枝 y-murata@ 助教/富田 侑希 tomitayu@  
 助教/尾立 光 hikarikun@ 地域支援歯科医療科/松原 国男 kunio@ 木村 聡 satoshi-k@

## 【概要】

超高齢社会におけるチーム医療を理解し、実践できるように安心、安全な歯科医療を提供する能力を身につける。

## 【学修目標】

安心、安全な歯科医療を実践するために摂食嚥下のメカニズムについて説明する。  
 超高齢社会において安全な歯科医療を提供するために高齢者の特徴について説明する。  
 チーム医療を理解するために介護の概念について説明する。  
 地域医療を理解するために施設研修に参加する。  
 地域医療を実践するために高齢者、有病者、障害者、在宅療養者とのコミュニケーションを実施する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 4	(高齢者介護実習)	高齢者介護実習を通して、「生活モデル」を体験する。 (ホワイトキャッスル、らくら当別、当別長寿園、愛輪園、愛里苑)	長澤 敏行 齋藤 隆史 川上 智史 越野 寿 齊藤 正人 伊藤 修一 川西 克弥 村田 幸枝 富田 侑希
5 ) 12	居宅・介護施設等における診療参加型実習(見学・介助・自験)	居宅・介護施設等における口腔ケア・摂食嚥下指導を学ぶ。 医師、看護師、介護スタッフなど、多職種とのチームアプローチの流れを理解する。 高齢者、有病者、障害者、在宅療養者へのコミュニケーションを学ぶ。 高齢者、有病者、障害者、在宅療養者への歯科診療について学ぶ。	長澤 敏行 齋藤 隆史 川上 智史 越野 寿 會田 英紀 齊藤 正人 伊藤 修一 塚越 慎 川西 克弥 村田 幸枝 富田 侑希 尾立 光 松原 国男 木村 聡

## 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

課せられた課題とケース数の総合評価

## 【参考書】

「施設実習のガイドライン」：ガイダンス時に配布

## 【学修の準備】

「施設実習のガイドライン」を事前に読んで理解する。(20分)  
 提示した課題について実習後毎回レポートを作製する。(30分)

## 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 人々のライフステージにおける疾患の予防、診断および治療を実践するための基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健、歯科医療技術を修得する。

DP2. 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につける。

DP3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につける。

DP4. 歯科医療の専門家として、地域的、国際的視野で活躍できる能力を身につける。

DP5. チーム医療（保健と医療と福祉）において協調し建設的に行動できる態度と能力を身につける。

#### 【実務経験】

長澤 敏行（歯科医師）、古市 保志（歯科医師）、斎藤 隆史（歯科医師）、川上 智史（歯科医師）、越野 寿（歯科医師）、會田 英紀（歯科医師）、齊藤 正人（歯科医師）、伊藤 修一（歯科医師）、塚越 慎（歯科医師）、川西 克弥（歯科医師）、富田 侑希（歯科医師）、尾立 光（歯科医師）、松原 国男（歯科医師）、木村 聡（歯科医師）

介護福祉士、生活相談員、介護支援専門員、福祉施設職員

#### 【実務経験を活かした教育内容】

大学病院、歯科クリニックでの実務経験を活かし、地域医療を担う施設スタッフ、介護福祉士などとともに、多職種連携の理念と方法、その他具体的な実践について教授する。